

岡山市新庁舎 実施設計 概要版

令和4年3月

令和5年から
工事始まります!



岡山らしさあふれるランドマーク

- ・岡山城の一二三の段を模した、立体ひろばや緑の連続性
- ・天守閣の屋根の重層を、庁舎の底の重なりで表現

北西側からの外観イメージ(2期竣工後)



段々ひろばからの見上げ

市役所筋からの外観

西側アプローチからの見上げ

1 新庁舎建設の必要性

現庁舎は、建築後50年以上が経過し老朽化が進むとともに、業務の拡大に伴い、保健福祉会館、分庁舎へ機能が分散し、市民サービスや業務効率の低下を招いています。一方、耐震診断(平成9年)の結果、大規模地震により倒壊する危険性が高いことが判明し、また、豪雨の際は、内水氾濫により浸水する可能性もあることから、発災時の業務継続が困難で、被災者対応や市民サービスの提供に支障をきたす恐れがあります。

こうした状況から、分散した本庁と北区役所機能の集約に加え、近年各地で頻発している未曾有の豪雨災害や南海トラフ巨大地震発生時にも、万全の体制で市民対応に専念できる防災機能を強化した新庁舎の建設は喫緊の課題です。

このたび、令和3年3月に公表した「基本設計」を踏まえ、建設に向け詳細を検討した「実施設計」を策定しました。今後はこの実施設計をもとに、令和8年度中の完成を目指して整備を進めてまいります。

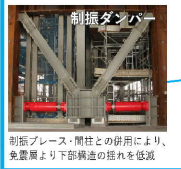
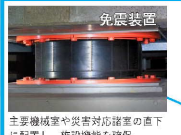
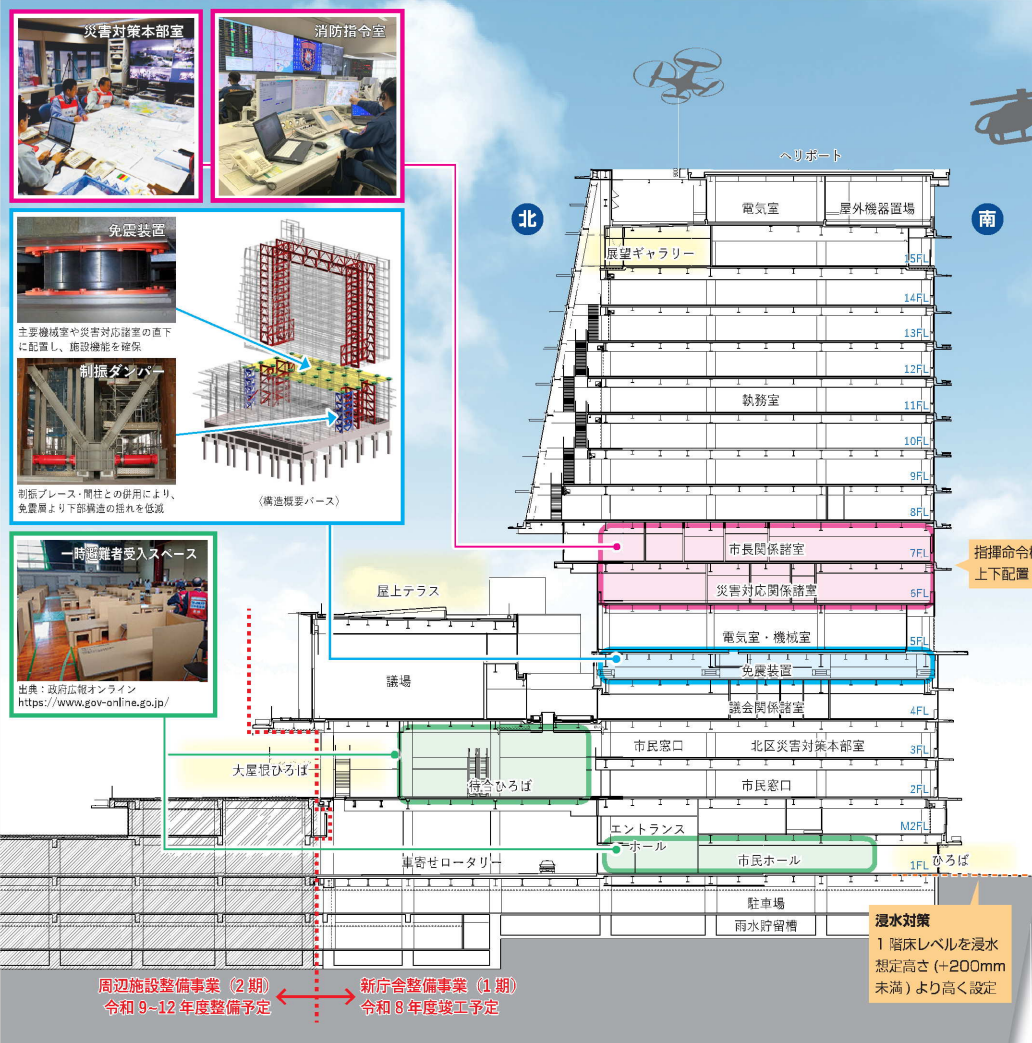
2 新庁舎の特長

A 市民の安全・安心を守る防災拠点

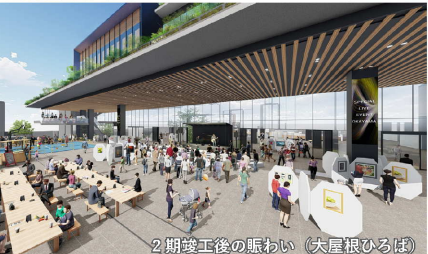
災害発生時にも業務継続が可能であり、市民の安全・安心な暮らしが確保できるよう、防災拠点機能の強化を図ります。

<主な計画>

- ・免震構造、制振構造のハイブリッドとした中間層免震構造で地震に強い建物
- ・災害対応関係諸室と市長関係諸室を近接させ、指揮命令機能を強化
- ・災害時には容易に機能転換できる市民スペース
- ・主要な設備機器は浸水の恐れがない5階に設置
- ・ライフラインの途絶に備え、3日分の非常用発電設備用燃料、4日分の飲料水を確保



B 市民に開かれた集い・憩い・賑わいの拠点



来庁目的の将来変化を見据えて、市民活動や様々なイベントの開催を通じ、魅力的なまちづくりの拠点となる庁舎を目指します。

<主な計画>

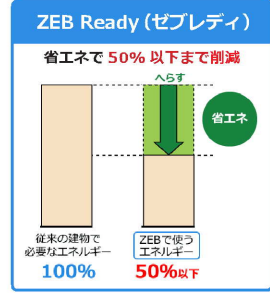
- ・岡山のまちなみを眺望できる議場屋上テラスや展望ギャラリー
- ・市民ホールでのイベントと連動し、庁舎南・西側に広がるひろばとの一体利用
- ・公園や立体ひろばの一体利用による大型イベント開催(2期竣工後)

C 先進環境技術でCO₂排出量を削減する省エネ庁舎

“晴れの国”と呼ばれる岡山の気候特性や、外部熱負荷を受けにくい建物計画を生かし、省エネに効果的な環境技術を採用することで、持続可能な省エネルギー庁舎(ZEB Readyの達成)を実現します。

<主な計画>

- ・断熱効果の高いLow-E複層ガラスや南面の各階に設ける深い庇により、外部熱負荷を軽減
- ・天井放射空調や昼光制御LED照明の採用
- ・太陽光発電や可燃ごみ広域処理施設等で発電した再生可能エネルギーの活用
- ・自然換気システムにより、フロア全体を効率的に換気



環境省 ZEB・ポータル「ZEB Ready」
<http://www.env.go.jp/search/zeb/detail/01.html>

3 計画概要

案内図



配置図



建築概要 (1期)

主要用途	庁舎
構造	鉄骨造 (一部、鉄骨鉄筋コンクリート造) および鉄筋コンクリート造 免震構造+制振構造
階数	地上17階 (中2階を含む) 地下2階
最高高さ	約87m
敷地面積	約13,960㎡
建築面積	約5,389㎡ (建蔽率38.6%)
延べ面積	約56,318㎡ (新庁舎棟のみ)
容積対象面積	約48,126㎡ (容積率344%)
駐車場	地下駐車場 124台 搬入用駐車場 26台
駐輪場	駐輪場 122台

4 事業費及び財源

地方債の対象経費や交付税算入率が拡充される合併推進債の活用による財政負担の軽減に加えて、国庫補助金の活用により、さらなる負担軽減を目指します。

事業費

内訳	計
庁舎建設工事費	281億円
その他関連経費	18億円
合計	299億円

財源

内訳	計
国庫補助金	12億円
地方債 (合併推進債)	253億円
一般財源 (基金を含む)	34億円
合計	299億円

※ 移転、備品購入、消防指令・防災等のシステム関係、2期工事 (現庁舎解体・周辺施設整備) 費用は含みません。

5 事業スケジュール

令和4年度は、建設敷地となる鹿田町駐車場等の解体工事を行い、その後、令和8年度にかけて新庁舎建設工事を行います。竣工後は、引越し、新庁舎の供用開始を経て、現庁舎の解体及び駐車場や広場、公園等を整備する2期工事 (周辺施設整備事業) を行う予定です。



岡山市総務局新庁舎整備課

〒700-8544 岡山市北区大供一丁目1番1号
電話：086-803-1151 FAX：086-803-1141
E-mail：shinchousha@city.okayama.lg.jp

